
今、残っているのはお前だけだ。どうだ、神に挑戦したいのか？
連れて行ってください。私、あなたと一緒に理想の世界へ…
くそっ…この奴の前じゃ誰も敵わない…今は従うしかない。
フッ…口だけは達者だな。こんなやり方で神を騙せると思っているのか？
今すぐ、俺の前で服を脱げ！
さあ、忠誠を示してみろ。
えっ…!?




な、なぜ…？！理想の世界に行くって言ったのに…なんで脱がなきゃいけないの…？！
俺の未来の民は神に対して絶対の忠誠を誓わなければならない。神の命令に背くことは許されない。
お前、考えを変えたのか？
仕方ない…今反抗すれば命はない…
くそっ…
私…こんな…！！




下もだ。俺が言ってるのは――全部だ！
まさか…こんな最低な奴に…
全部見られちゃうなんて…！！




どうだア、ハンコック！もう打つ手はねェだろう？ゼハハハハ！
てめェにこのオレ様の力を見せてやるぜ！
蛇姫様あっ！！
蛇姫様が、そんなはずは……！






だが内臓はもう粉々になっちまってんじゃねェか？心配すんなァ、オレ様がすぐに痛みなんざ忘れるくらい気持ちよくしてやるよ！
さすがは海賊女帝だなァ！あの一撃を食らってまだ意識があるとはよォ！






まさか天竜人の奴隷だったとはなァ！
こいつァとんでもねェ話だぜ！




ゼハハハハ！こんなんじゃ九蛇海賊団を率いることなんざできねェだろ？だったらオレの女になっちまえよ！
















とんでもねェ体だぜ！安心しろ、ここで起きたことは誰にも知られやしねェ。
さすがは最高の「賞品」だ……！こんな体を他の奴らに渡すなんて惜しいほどだ。




元九蛇海賊団の船長だった？――やっぱり他の女とは格が違うな！






さっさと這いつくばれ！みんなオレの〝賞品〟を見たがってるんだぜ！むふふふ！





















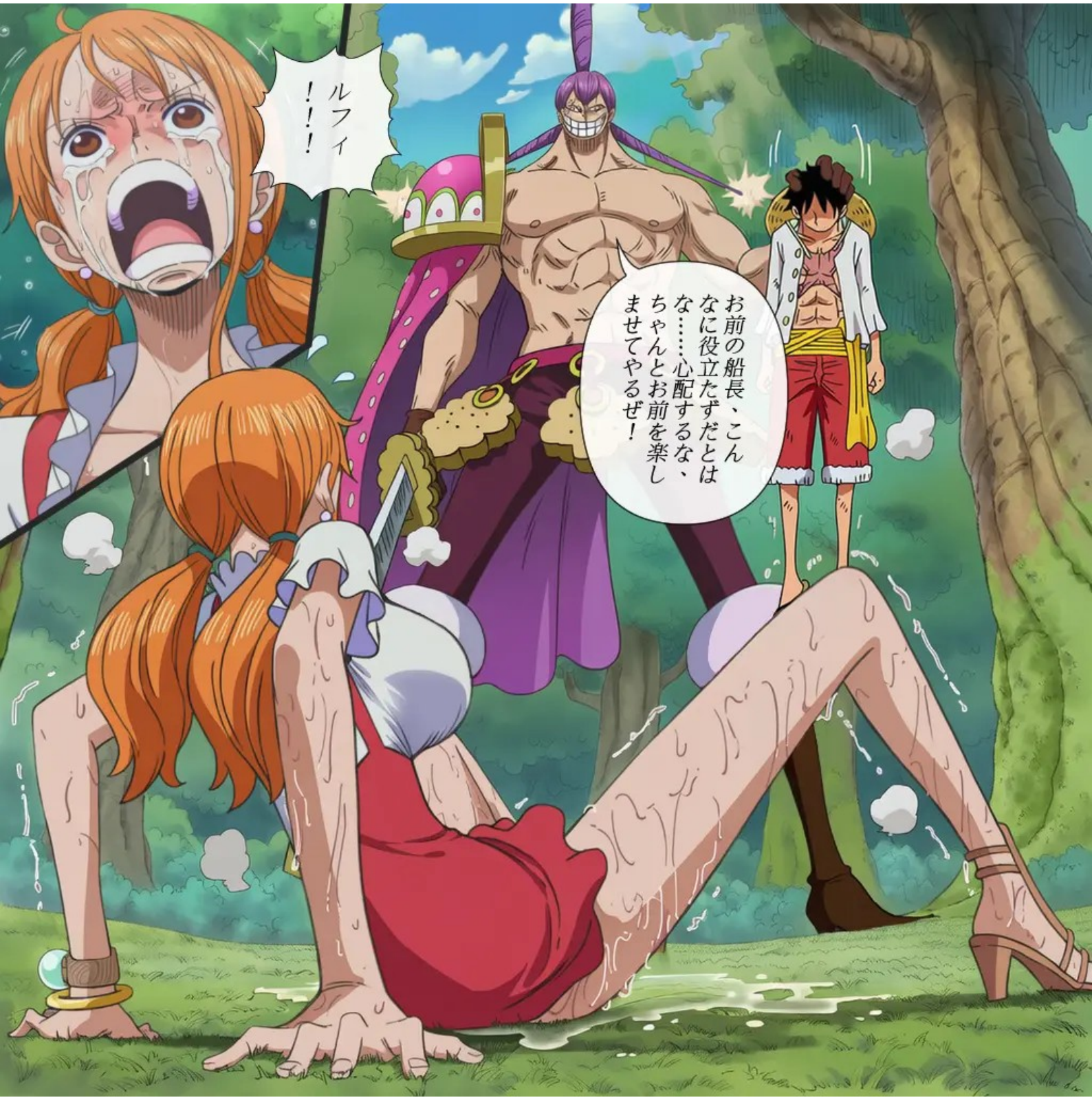


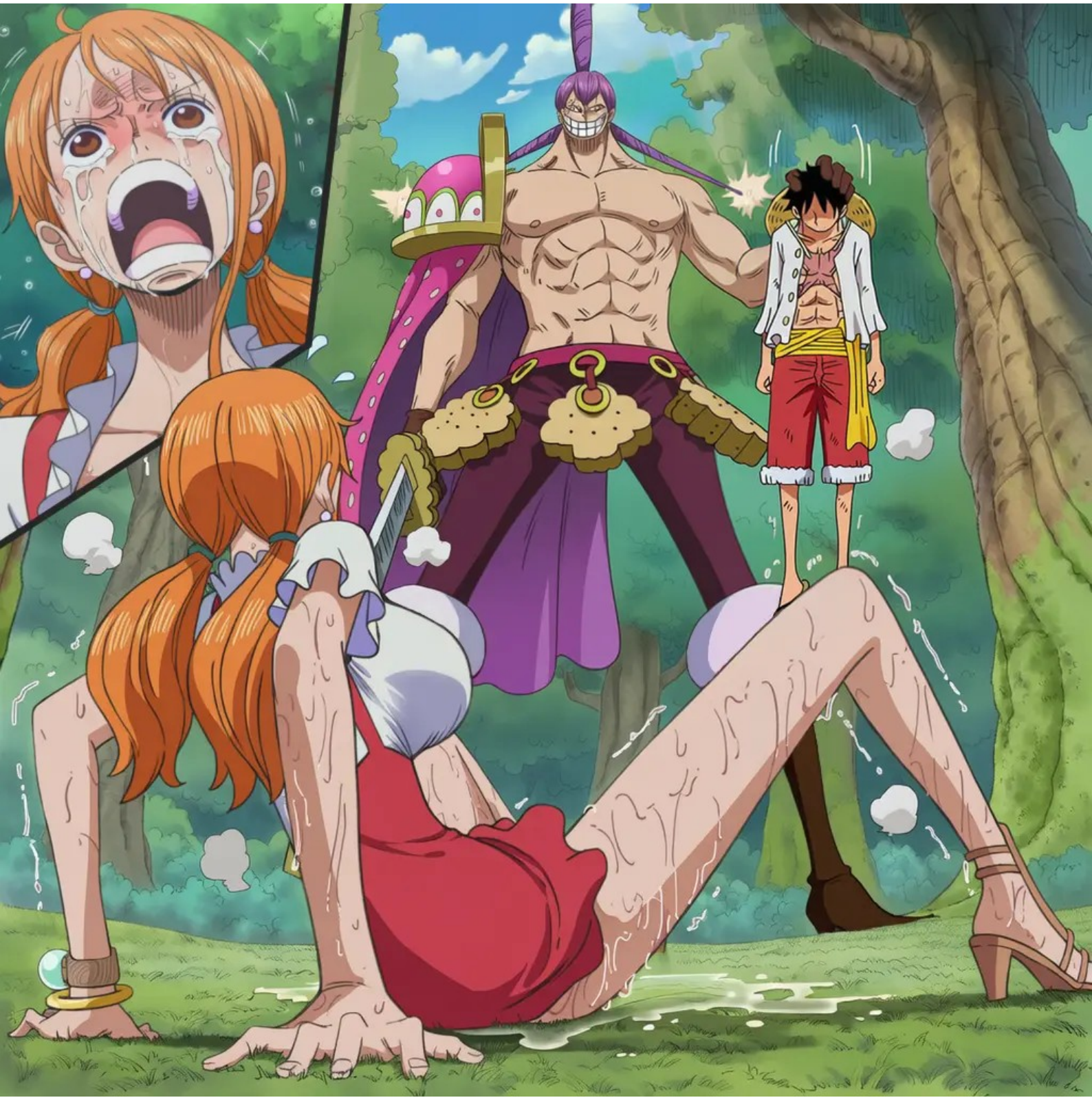









ルフィ！！！
お前の船長、こんなに役立たずだとはな……心配するな、ちゃんとお前を楽しませてやるぜ！



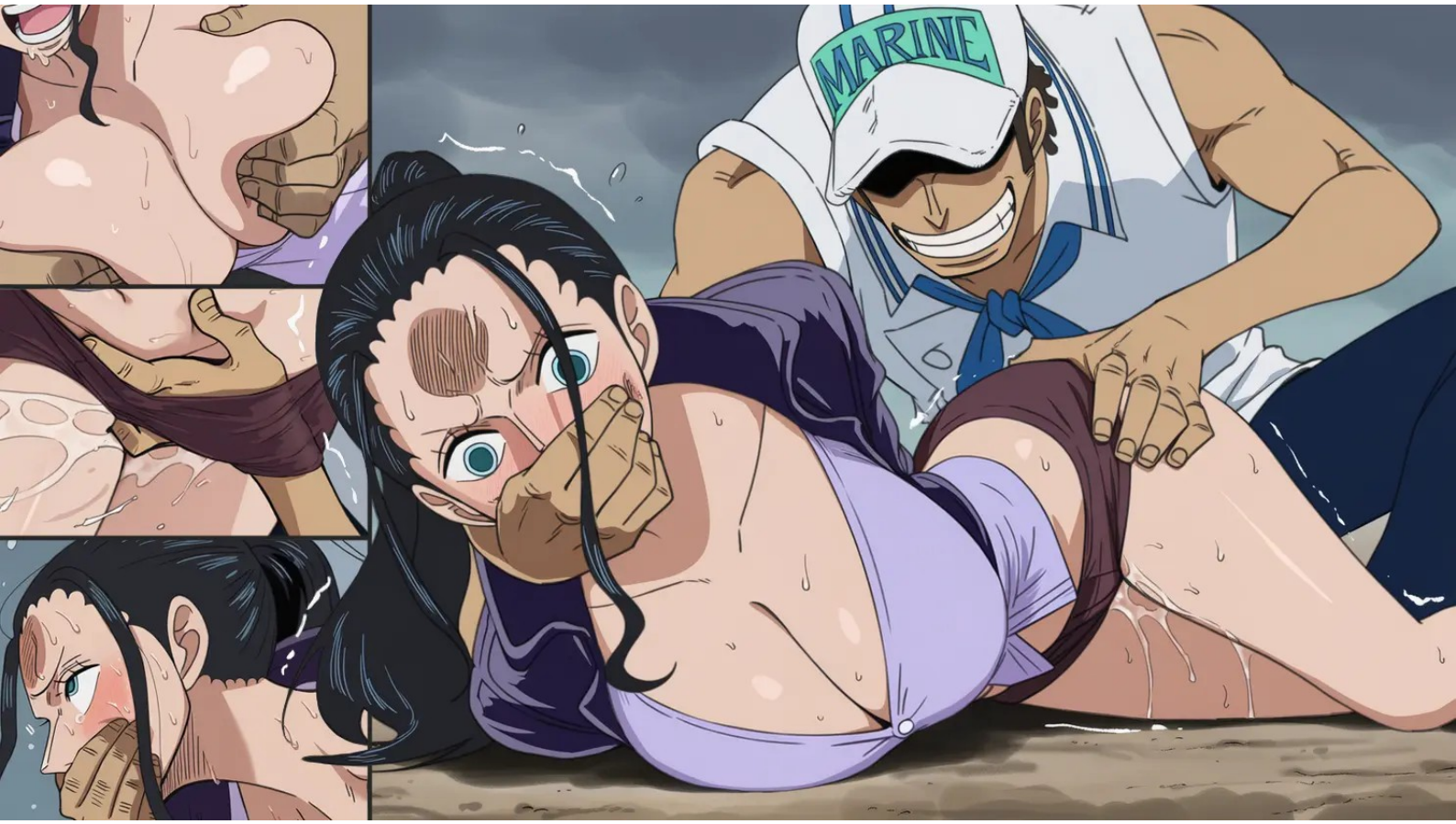











MARINE


MARINE
MARINE


MARINE






本当にあの海賊女帝なのかよ！？
天竜人にこんな風にされても、まだ色っぽいなんてな……！
いや、尿って言うべきか……信じられねェ！
まさか……この川の水、全部あいつの体液だったのか！？




その格好、お前にピッタリだぜ。体、掃除してやろうか？





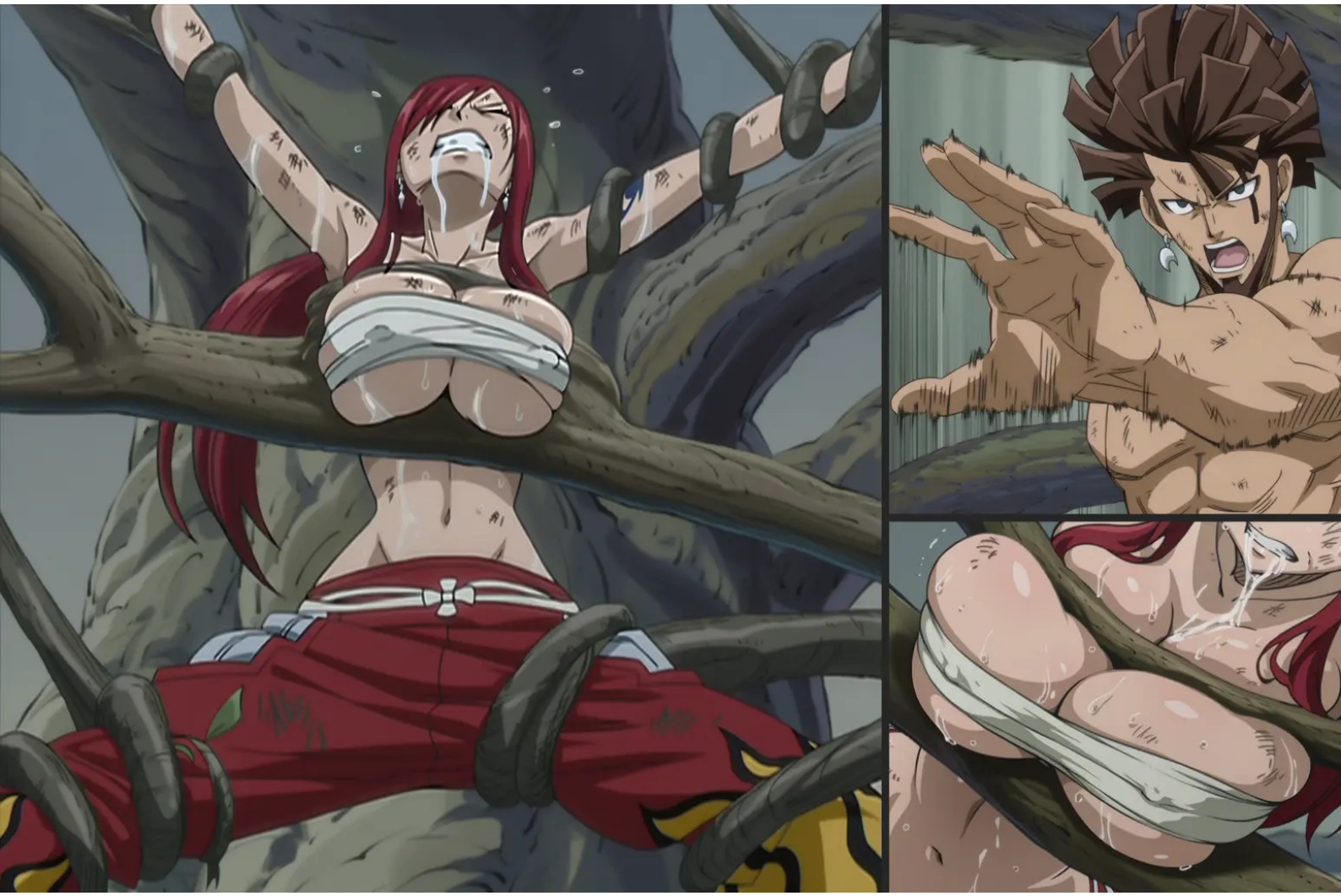




















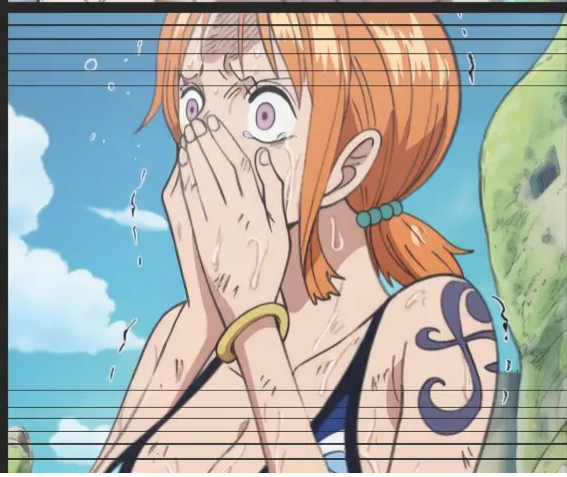








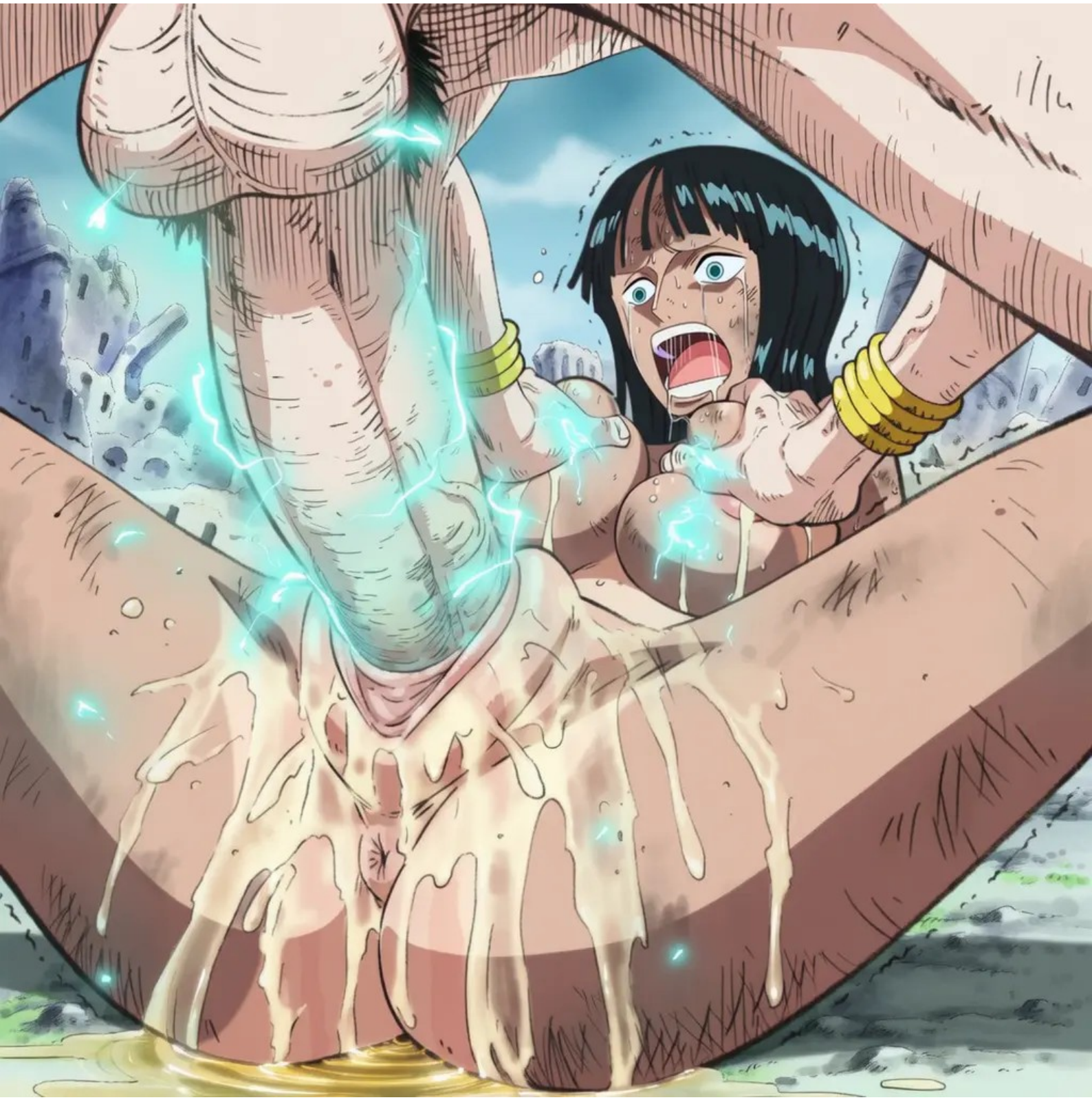




























































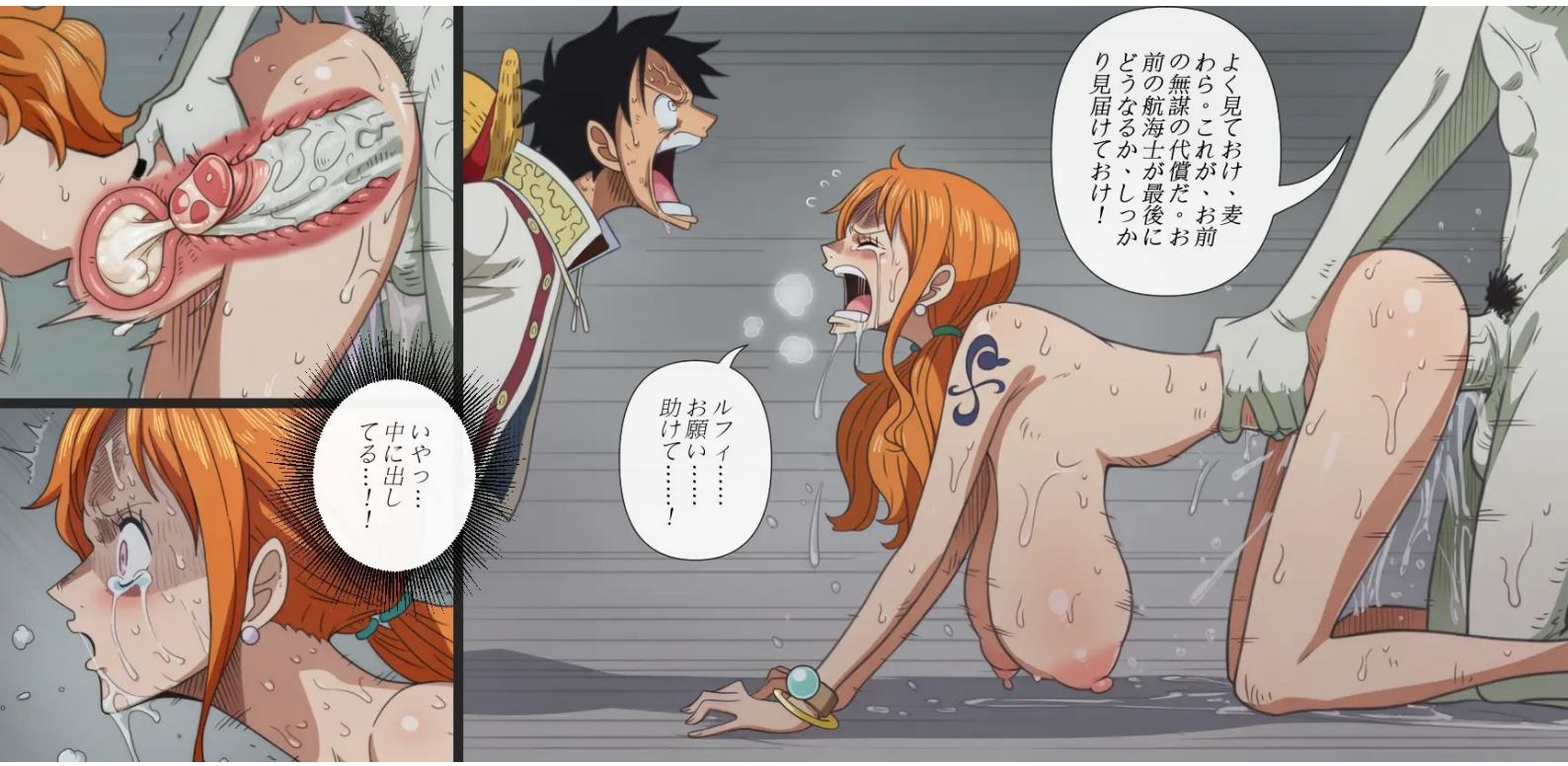


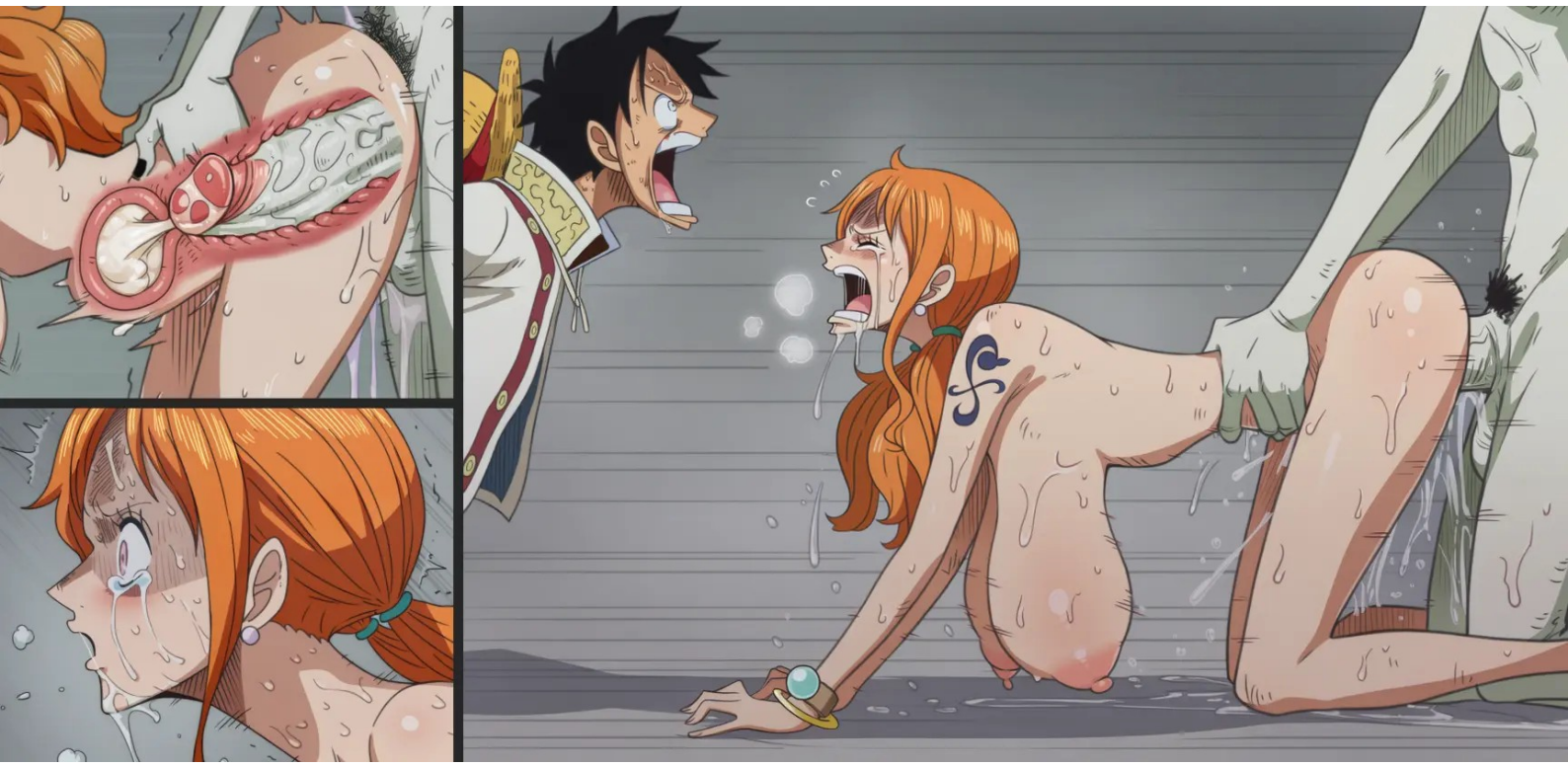



本当に残念だな、麦わらの一味。ママに「ちゃんと可愛がれ」って言われたんだ。まずはお前から手をつけてみようか？
てめェ！おれの航海士に手を出すな！！何をしてやがる！？

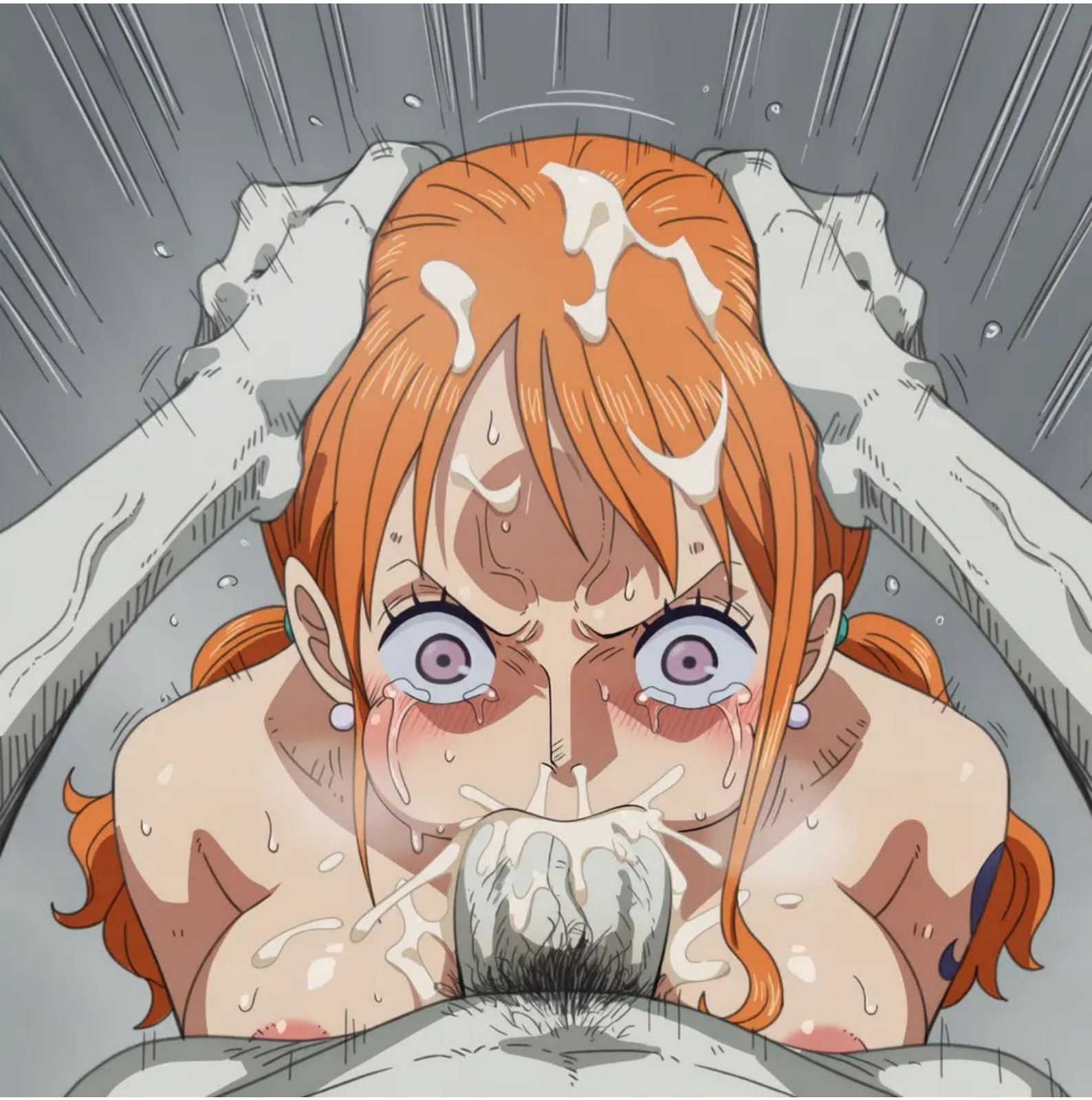





よく見ておけ、麦わら。これが、お前の無謀の代償だ。お前の航海士が最後にどうなるか、しっかり見届けておけ！
ルフィ……お願い……助けて……！
いやっ…中に出してる…！！







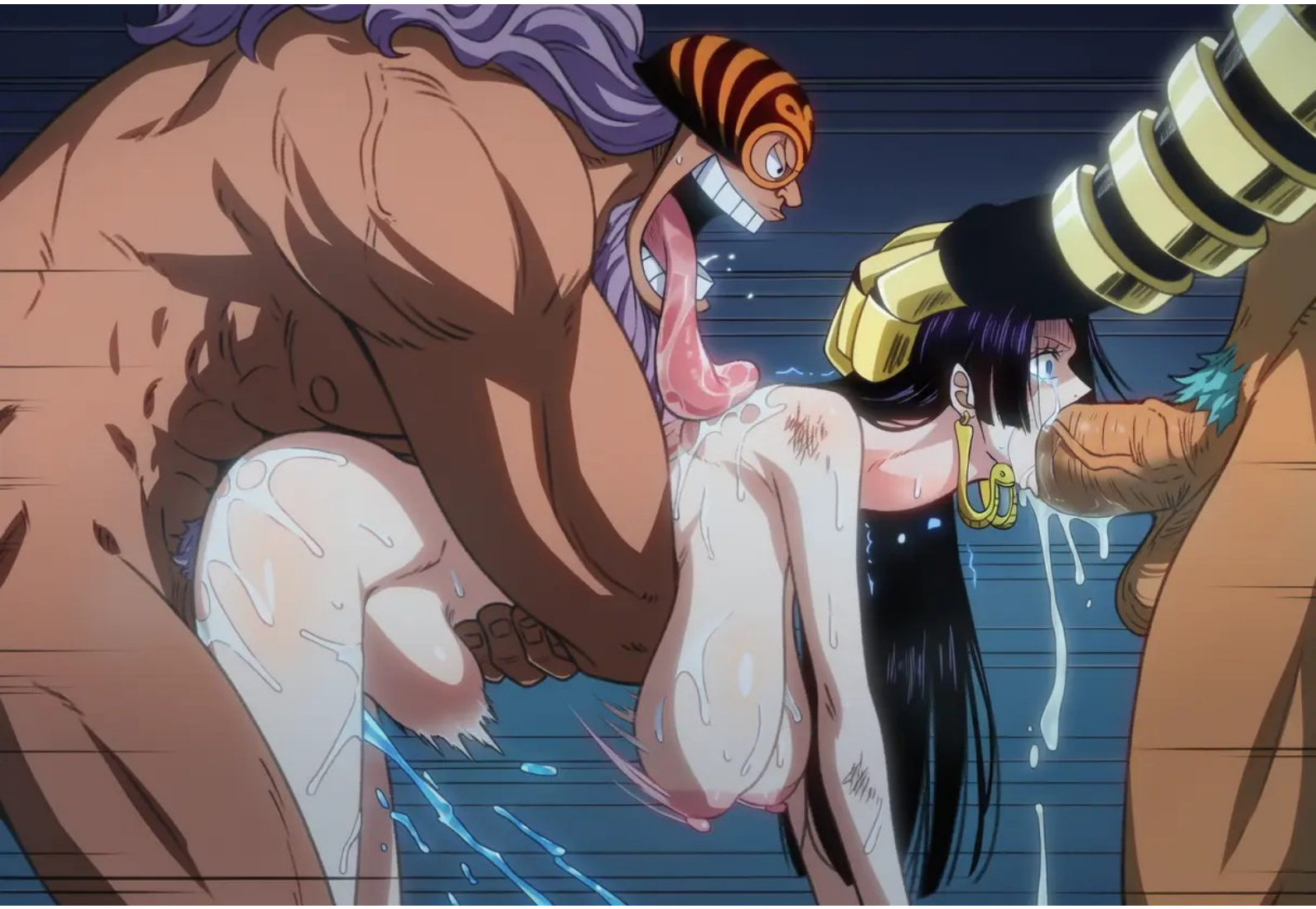



ゼハハハハ！！
このザマ、まさにお前にぴったりだな、ボア・ハンコック！
七日間も閉じ込められて、さぞ寂しかっただろ？心配すんな、俺たちが遊んでやるよ！
それでもまだ俺に屈しねぇのか？さすが、海賊女帝、と呼ばれる女だ。どれだけ耐えられるか、俺が見てやるぜ！






さすがだな、麦わらァ！！フッフッフッ！俺にこんな美女を二人も差し出してくれるとはなァ！まさに極上の極みだ！！
なんて柔らかくて張りのある胸だ…！こいつは最高だぜ！！フッフッフッフッ！





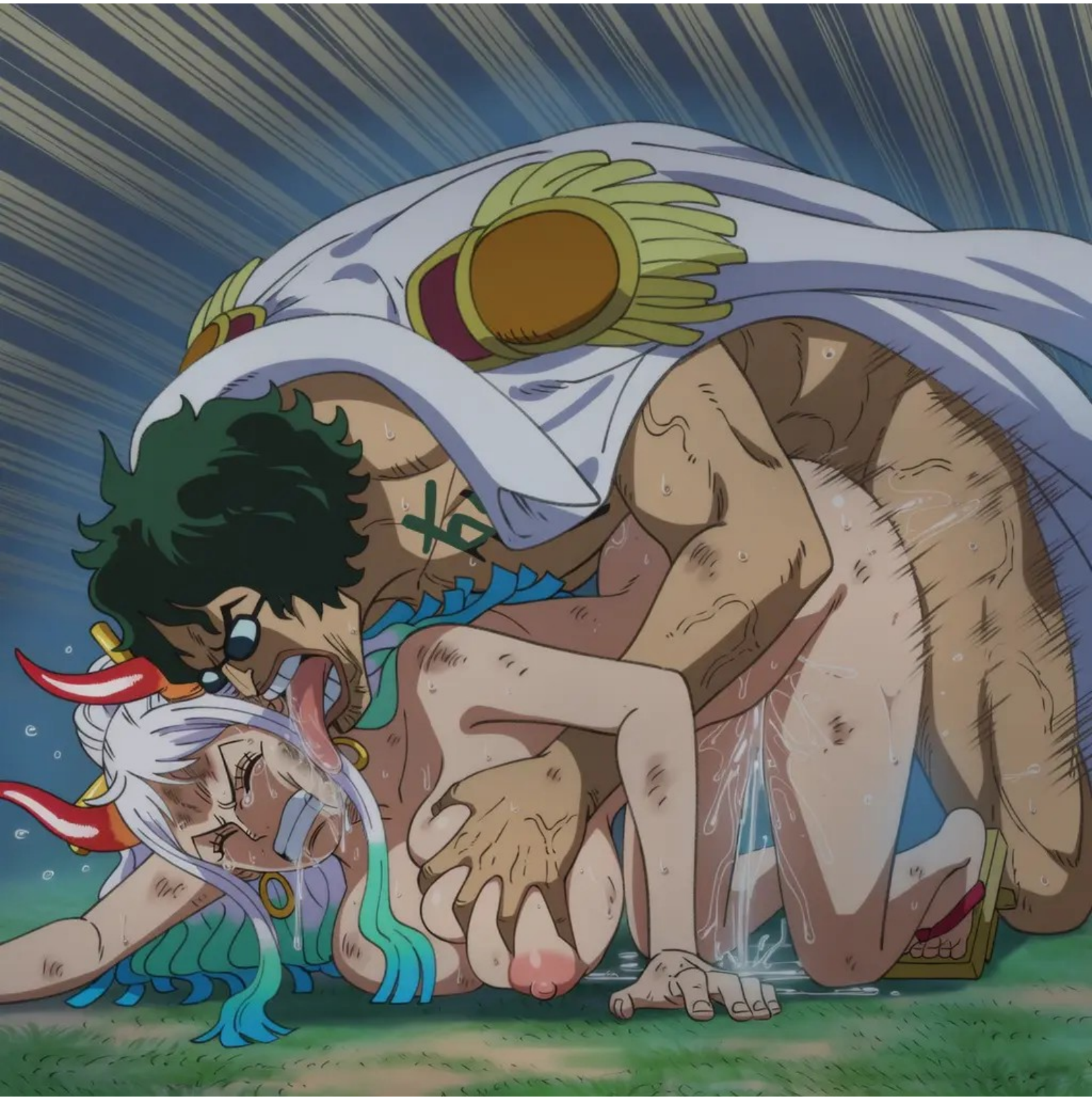



















痛ぇんだよ、く
そっ！お前……！
一体何をしようっ
ていうんだ！！




さァ、二人とも……
どっちが先に絶頂に達するか、見せてもらおうじゃねェか！！フッフッフッ！




あらあら、身体があんまり言うことをきかなくなってきたみたいだね？
お前の体内腺を環境刺激に対する致死量まで下げてやったから、今や微風が通り過ぎただけでも汗が止まらないだろう。よだれも止まらなくなったんじゃないか？
おやおや、こんなに漏れやすいとは思わなかったよ。




や…やめっ…
あっ…だ…ダメっ！！




いやあ、光栄だね！「瞬神」と呼ばれる夜一のおまんこに射ち込めるなんて！








くっ…バカ親父、
また酔っぱらってんのか！？離せよ！！
















心配するな、美しい女には毎日、精液が口に入るほど用意されてるんだぜ！！







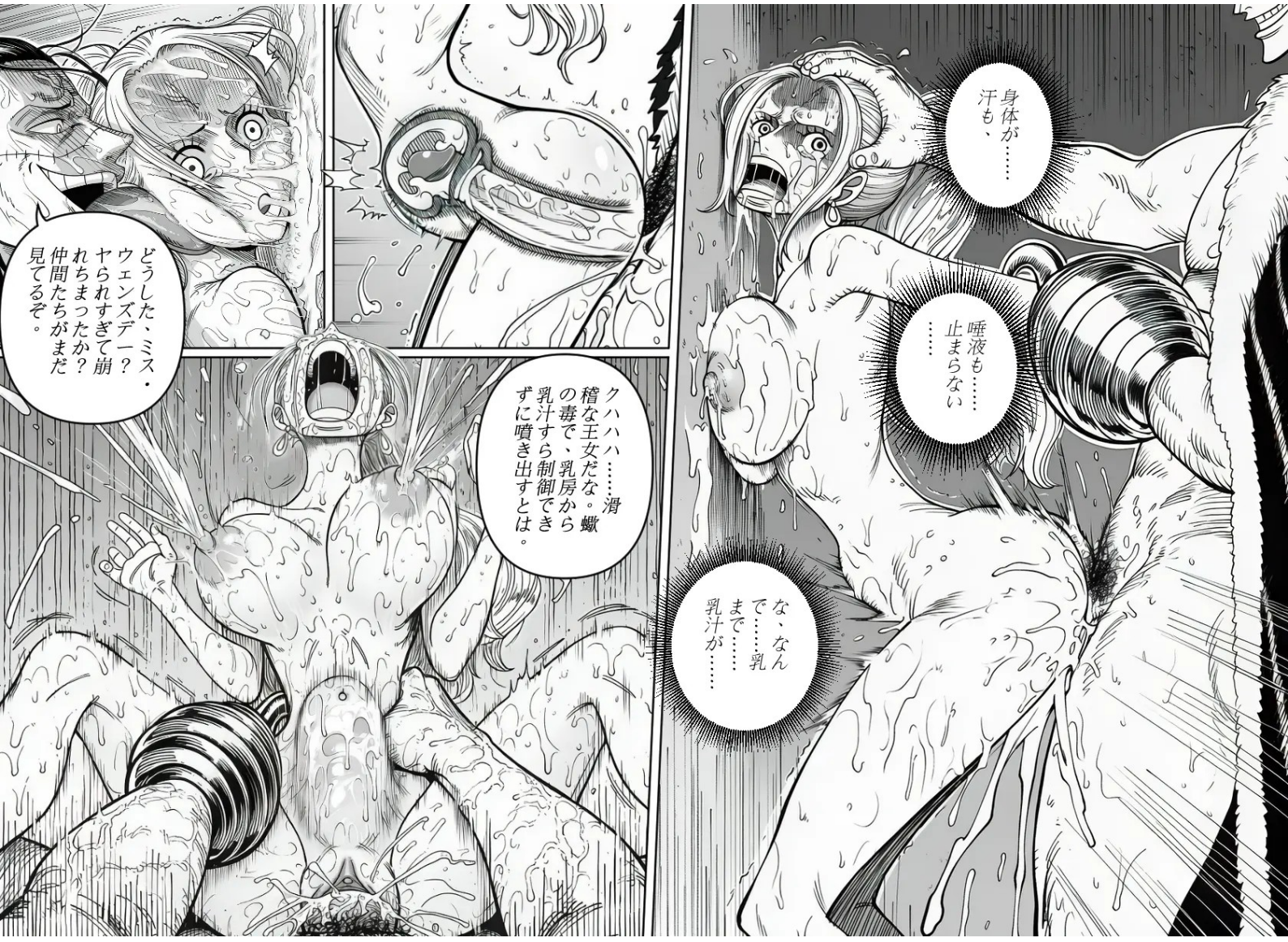







ナミ！
お願い、ビビを許して……もう見ていられない……
だが……
ふふ、このお嬢さん、そんなに悲しまなくてもいいさ。別に無理ってわけじゃない。
せっかく気分が乗ってることだし、別の女で遊んでみるのも悪くないかもな。

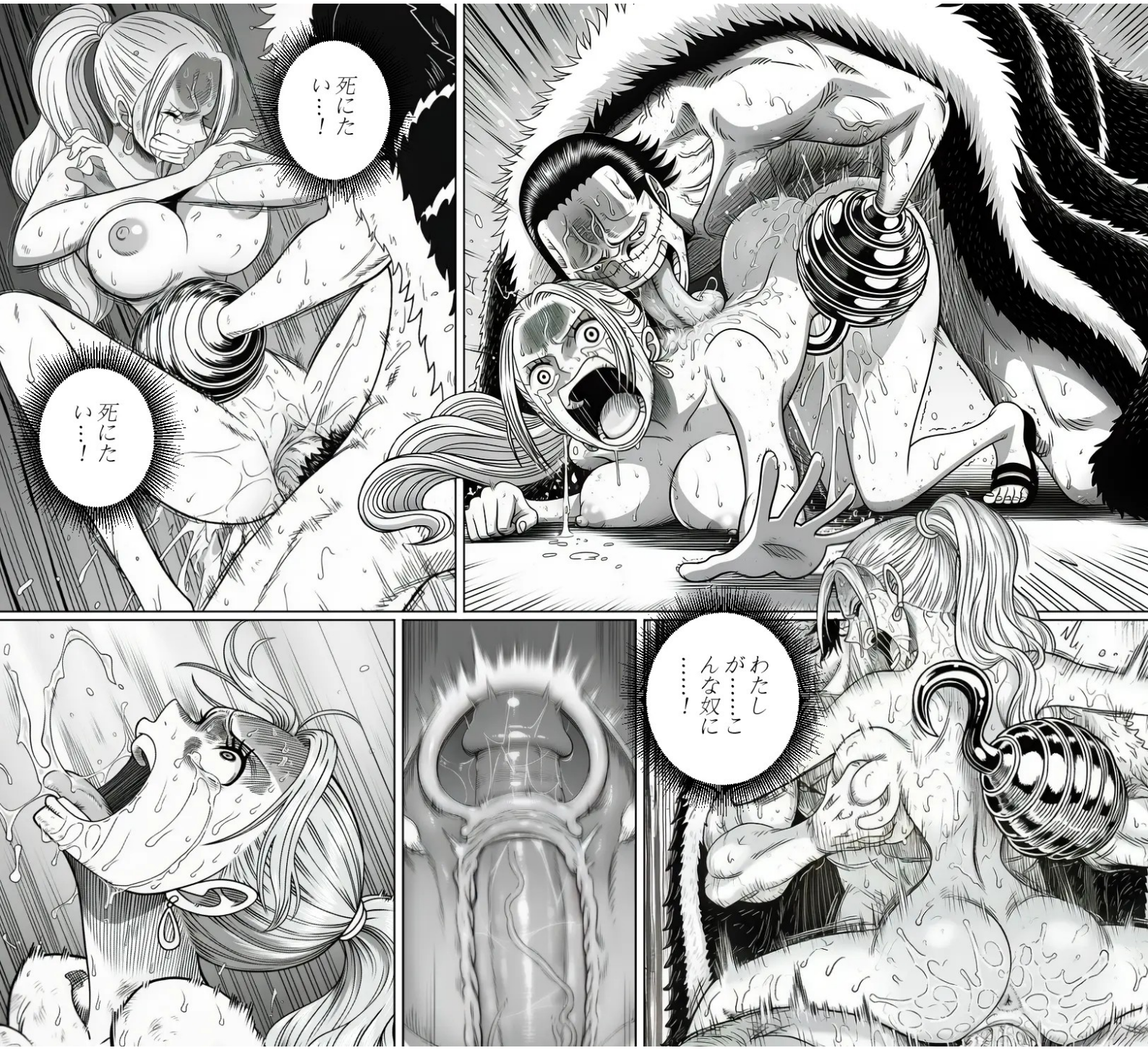


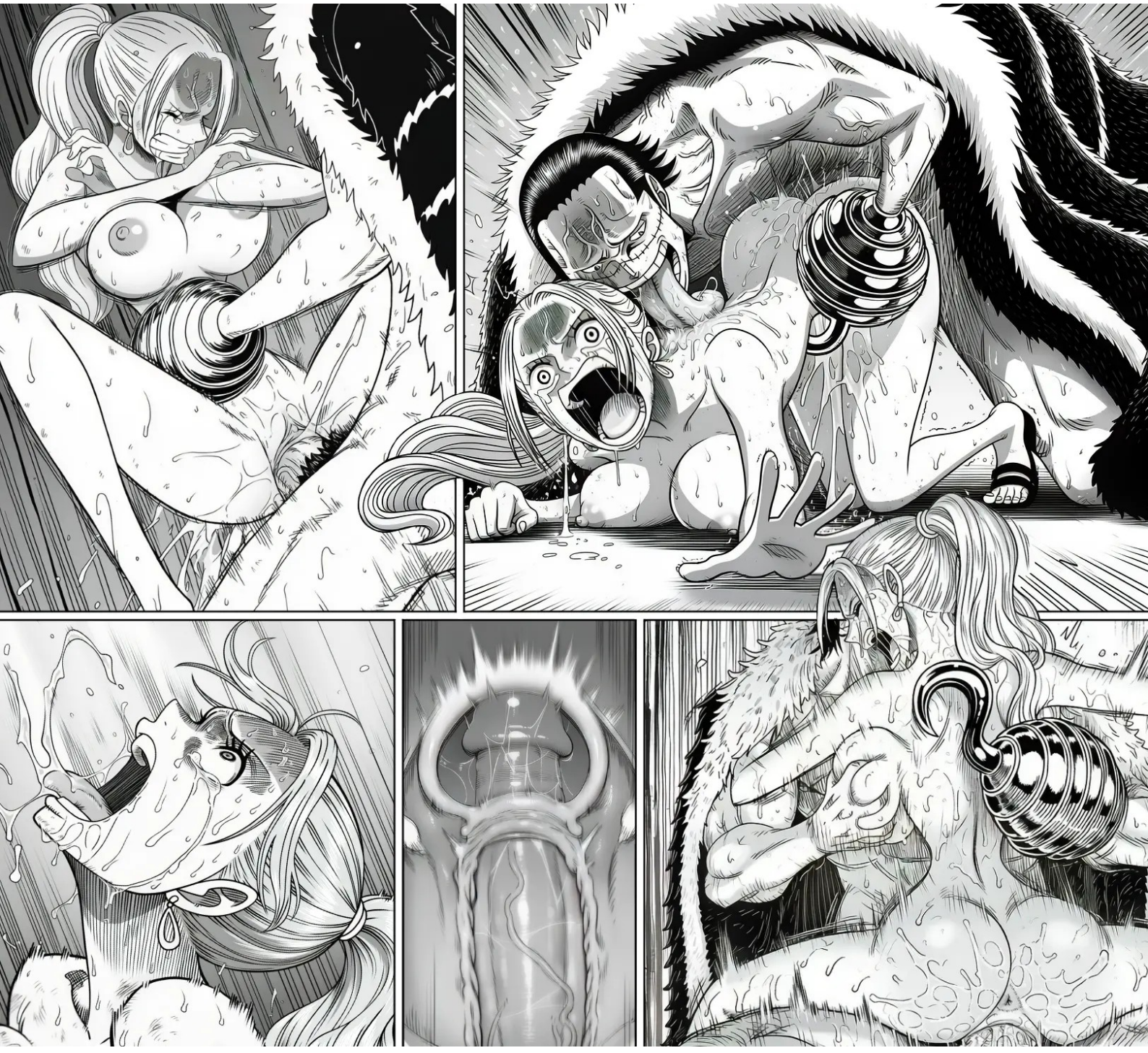

身体が……
汗も、
唾液も……
止まらない
……
な、なんで……乳まで……
乳汁が……
クハハハ……滑稽な王女だな。蠍の毒で、乳房から乳汁すら制御できずに噴き出すとは。
どうした、ミス・ウェンズデー？ヤられすぎて崩れちまったか？仲間たちがまだ見てるぞ。




そういえば、マンコから汁が漏れすぎじゃないか？この王女め、口も悪いし、中身もこんなに淫らだったとはな。
胸に何かを注射しておいた……これで屈辱なんて忘れるくらい気持ちよくなるに決まってる。

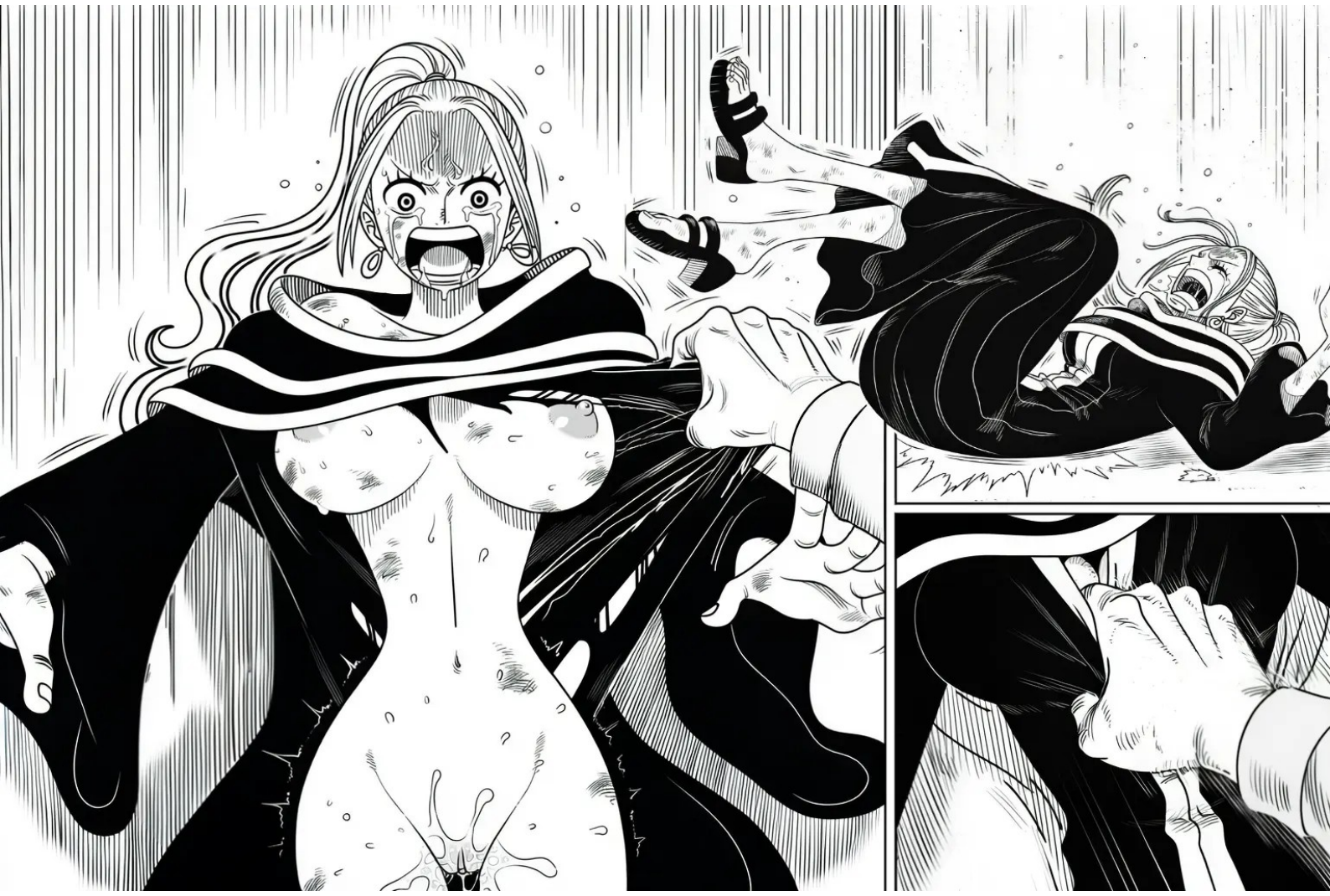



死にたい……！
死にたい……！
わたしが……こんな奴に……！




クハハハ…君の国民に、今の君の姿を見せてやるべきだったな。
このクソバカワニ！ビビに何してやがる！？出してみろよ！！ぶっ飛ばしてやるぞ！！
アラバスタの王女として、確かに体つきは悪くないな！未来の王であるこの俺に選ばれたことを誇りに思うべきだ。
ビビ…
そ…そんな…






君のあの海賊仲間どもでもない。
残念だね、ミス・ウェンズデー。国を救えるのは君じゃないし、
だが、役に立たなくなる前に、俺とこの国のためにやってもらうことはまだある…


















ねぇ、ペーたん～～
なんでまだイかないのよ!?アタシが乗らなきゃダメってわけ～～?















